

# 急変時の取り組みについて

流山市役所健康福祉部介護支援課

令和5年7月31日

## 「急変時の対応」の場面における目指すべき姿

医療・介護・消防（救急）が円滑に連携することによって、在宅で療養生活を送る医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者の急変時にも、本人の意思も尊重された対応を踏まえた適切な対応が行われるようにする。

（在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver.3 第2章 3(4)①より）

# 課題解決に向けた論点

- 高齢化の進展に伴い、高齢者の救急搬送件数は増加の一途を辿っている中で、在宅で最期まで療養することを希望する本人の病状が急変した際に、本人の意思に沿わない救急搬送が増加することが懸念されており、地域において、本人の病状や希望する療養場所、延命措置に対する希望等、本人の意思を共有するための関係機関間の連携体制の構築が喫緊の課題となっている。
  - ⇒ 「患者の意思」を関係者が共有できる仕組み・ルールを考える必要。

## 抽出した課題の対応案を踏まえ、取り組み計画

■抽出した課題1～4をもとに4つの場面を設定、それぞれの場面の目標設定する。

### ⇒救急要請時の基準と連携の場面を追加

- 1、予測されている疾患での急変の場合
- 2、治療中以外の新たな疾患による急変の場合
- 3、どうすることになっているのかきまっていない場合
- 4、救急要請時の基準と連携の場面

# 急変時の連携～課題抽出～

第1回在宅医療介護連携会議や第1回介護と医療をつむぐ会のアンケートやグループワークの中から見えた課題

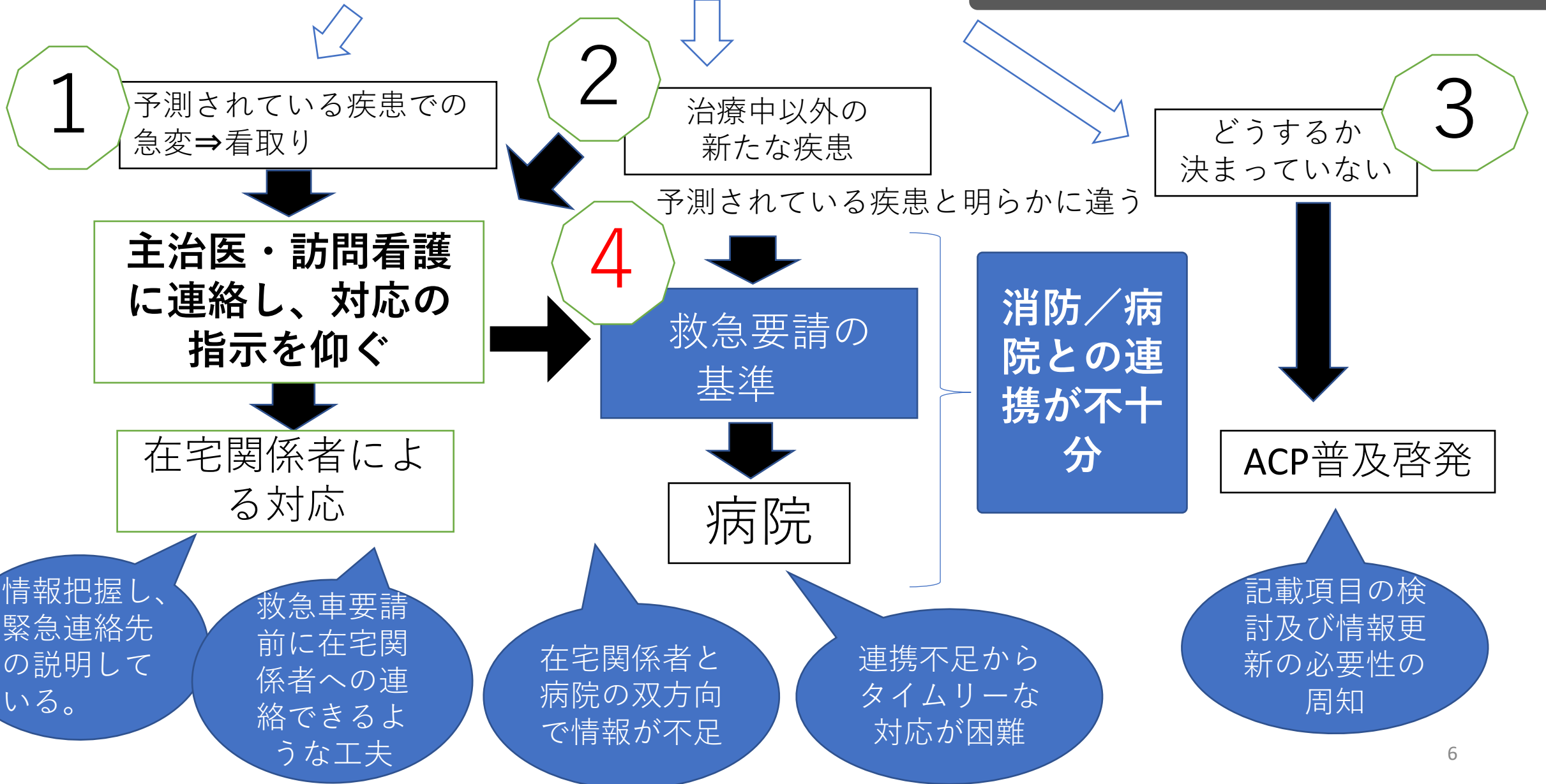
■在宅関係者と病院関係者の双方向で情報が足りていない、情報がタイムリーに伝わらないため、医療・看護・介護の提供がスムーズにいかない  
⇒**病院との連携**

■救急隊に日ごろの状態やかかりつけ医、内服薬などの情報伝達が難しい  
■救急隊の搬送基準に対し、在宅医療関係者の理解が不足している  
⇒**消防との連携**

■本人や家族が急変時の話がしにくい、イメージがわからない  
■家族間で意向がまとまらず、利害の不一致が起こる  
⇒**ACP**

# 急変時の場面分け

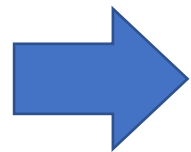
医療・介護サービスにつながっている在宅療養者



# 急変時の連携～抽出した課題への取り組み計画 1

## ・病院との連携

- ・在宅での本人の医療・看護・介護の状況が、入院時に伝えきれていないため、情報収集に手間取り、対応が後手後手になりタイムリーな医療・介護につながらない
- ・退院に当たり、入院時の状況が伝わらないと在宅での医療・看護・介護が直近の病状や身体機能に合わせてタイムリーに提供できない

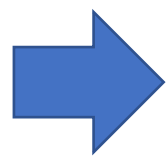


- ・ **千葉県地域生活連携シート** の必要最小限の項目を把握し、関係者間の双方向で共通理解を図り活用していく  
(必ず欲しい項目、急ぎではないが欲しい項目、書かなくても問題ない項目など区別する)

## 急変時の連携～抽出した課題への取り組み計画 2

### 消防との連携

- ・ 日ごろの状態やかかりつけ医、服薬状況などの情報伝達が難しい
- ・ 救急隊がどのような状況なら搬送するのかなど搬送基準に対し、在宅医療介護関係者の理解が不足している



・ **必要十分な情報伝達ツール（救急情報カード）の精査・確立が必要**

・ **消防との意見交換の機会を設け、連携促進を図る**

消防との情報交換で、お互いの現状や動きの根拠を理解し、搬送基準などの情報を共有することで望まない搬送が減少し、また搬送が必要な場合はスムーズな搬送につながる



## ✦ 救急情報カード ✦

— 医療・災害時における救急要員や地域の支援者への情報提供カードです —

本人の情報	フリガナ		性別	男・女
	氏名		職業	▲-●-○-▲●
	生年月日	明治・大正・昭和・平成 年 月 日		
	住所	〒 市 区 町 丁目 番 号		
	電話番号		携帯電話番号	
	メールアドレス		FAX番号	

家族等の連絡先	フリガナ		本人との関係	※必ずお書き
	氏名			
	住所			
	電話番号		携帯電話番号	
フリガナ		本人との関係	※必ずお書き	
氏名				
住所				
電話番号		携帯電話番号		

**医療に関する情報**      ※記入欄が足りない場合は別紙等に記入してください

治療中及び過去の病名	手術歴	かかりつけ医師・施設	
病名・病期	病 名	病 名	病 名
病名・病期	病 名	病 名	病 名
受診する一助病		病 名 ( )	

**自宅等での保存の際は、「治療手帳」のコピーを添えてください。**

近親者・支援機関等（無関係もしくはある・支援を受けている等）

氏名・職業関係（役職等）	関係性	電話番号
	近親者・支援者・その他	
	近親者・支援者・その他	

優先的におこな（災害時の緊急連絡・被災者救済活動など）

	医師 救急要員 災害要員
	警察 消防官

**病歴・治療・災害時の連絡先等の大事な情報は、定期的な更新を**

# 急変時の連携～抽出した課題への取り組み計画3

## ACP

- ・ 本人や家族が急変のイメージがわからず話しにくい
- ・ 今後の話なんて縁起でもない、考えると具合が悪くなるなど話題にしにくい
- ・ 説明を受けていても家族の覚悟が決まっておらず、本人の意向に寄り添えない
- ・ 家族間で意向がまとまらず、利害の不一致が起こる



- ・ 出前講座、市民公開講座の開催、おうち療養情報紙の発行
- ・ 在宅医療介護関係者がACPを話題にしやすいきっかけづくりとして、流山市版のACPに関するリーフレットの作成や、市からの一斉通知のタイミングでリーフレットを同封するなどの方法の検討
  - ・ 方針がぶれ、望まぬ搬送につながることを防ぐためにも、救急情報カードや千葉県生活地域連携シートの活用について検討

# 急変時の連携～抽出した課題への取り組み計画（まとめ）

## 1、病院との連携

千葉県地域生活連携シートの効果的な活用

## 2、消防との連携

消防と情報交換の機会を設定し、連携を図る

救急情報カードの活用

## 3、ACP普及啓発

これまでの取り組みに加えて、一斉通知の際にリーフレットを同封するなどさらなる普及啓発に向けて取り組む

# 急変時の場面分け

医療・介護サービスにつながっている在宅療養者

1

予測されている疾患での急変⇒看取り

2

治療中以外の新たな疾患

3

どうするか決まっていない

予測されている疾患と明らかに違う

主治医・訪問看護に連絡し、対応の指示を仰ぐ

在宅関係者による対応

4

救急要請の基準

病院

消防／病院との連携が不十分

ACP普及啓発

情報把握し、緊急連絡先の説明している。

救急車要請前に在宅関係者への連絡できるような工夫

在宅関係者と病院の双方向で情報が不足

連携不足からタイムリーな対応が困難

記載項目の検討及び情報更新の必要性の周知

# 急変時の連携について情報収集の実施

調査日時： 令和5年6月30日 金曜日  
第1回 介護と医療をつむぐ会にて

実施主体： 流山市役所介護支援課

調査対象者： 急変時の対応に携わる在宅医療介護連携関係者

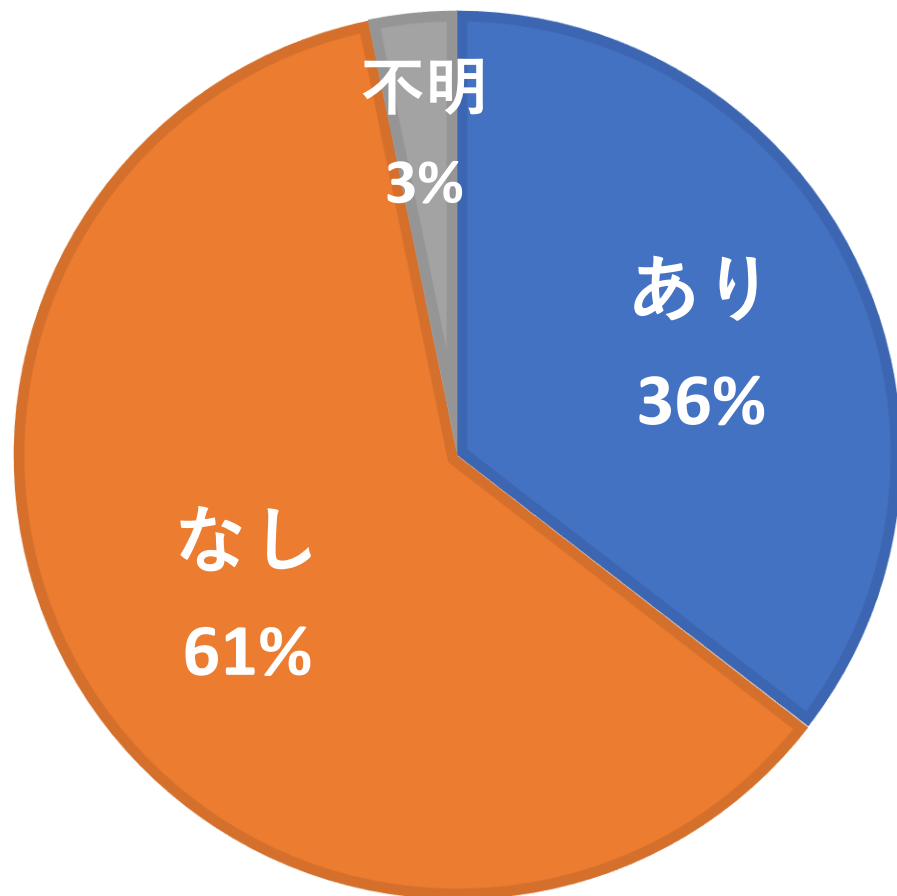
調査方法； ①グループワークによる意見交換（20分）  
②急変時の連携（11項目）紙面による回答

※54名中31名から回答を得た（アンケート回収率 57%）

内訳： 医師1名、 歯科医師2名、 薬剤師3名、 ソーシャルワーカー3名、 看護師6名、 管理栄養士2名、 ケアマネージャー6名、 介護職3名、 社会福祉士1名、 後見人1名、 無記名3名  
（在宅関係者23名、 病院関係者5名 不明3名 計31名）

# 急変時の連携についての質問

## 1、急変時に対するマニュアルはありますか？



回答 31 名中

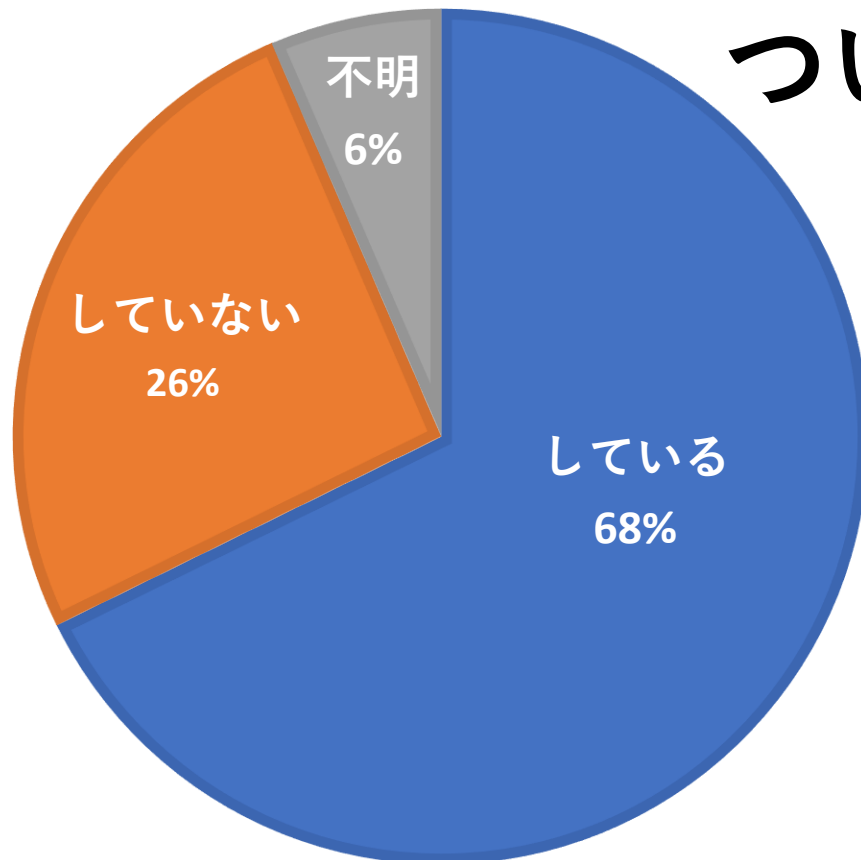
マニュアルあり... 11名 (36%)

マニュアルなし... 19名 (61%)

不明... 1名 (3%)

# 急変時の連携についての質問

## 2、事前に本人、ご家族と急変時の対応について相談していますか？



回答 31 名中

相談している... 21 名 (68%)

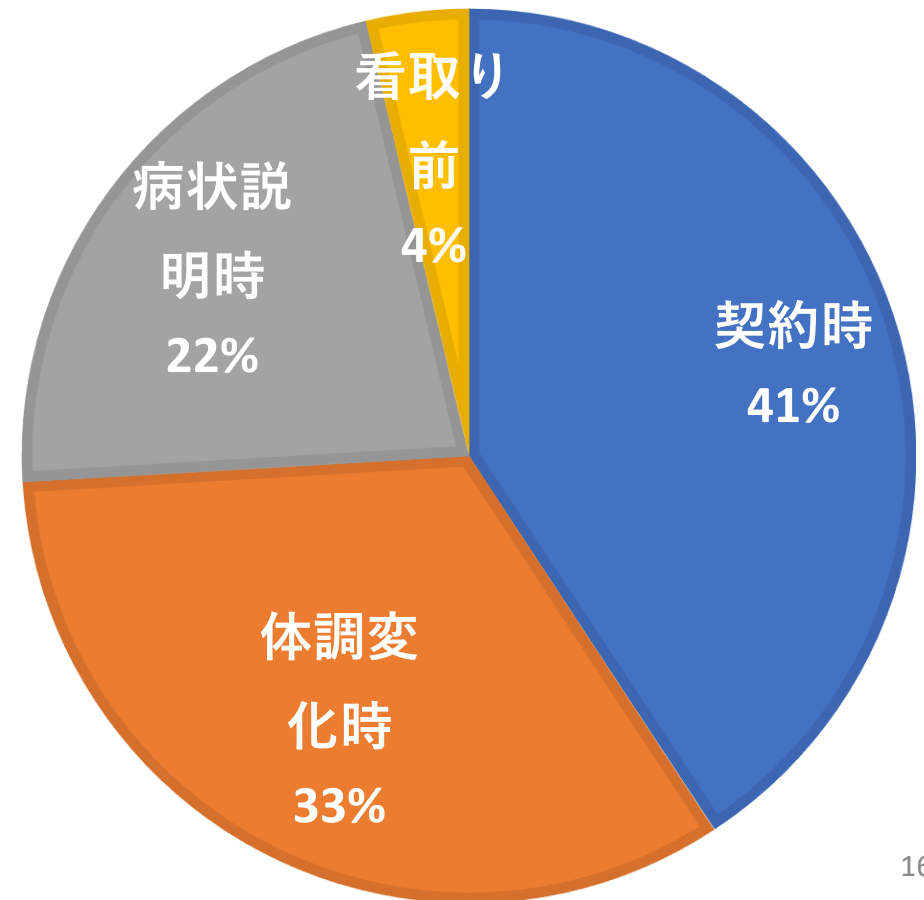
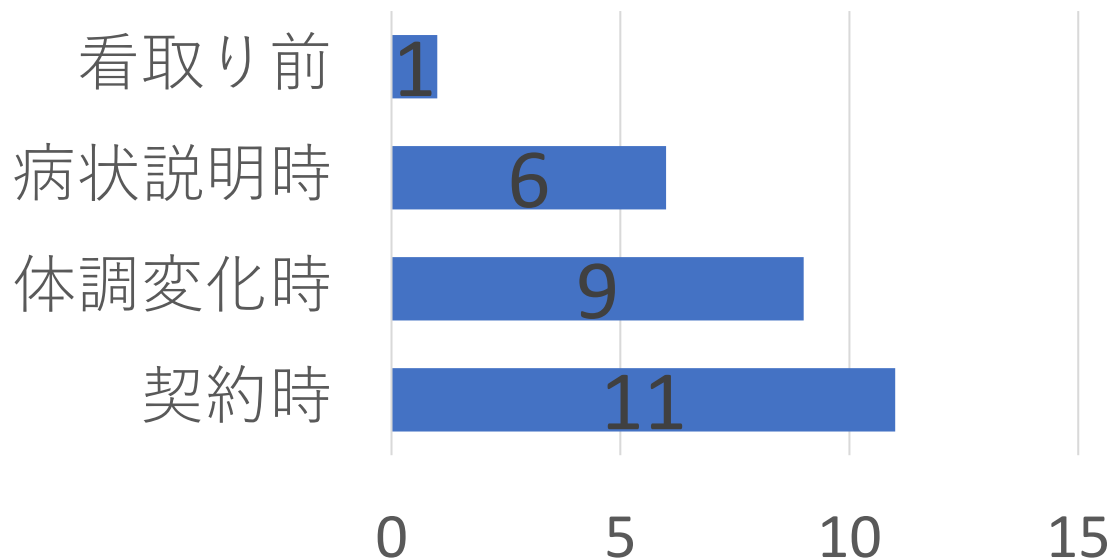
相談していない... 8 名 (26%)

不明 ... 2 名 (6%)

# 急変時の連携についての質問

2-1 どの時点で、ご家族、本人の意向を確認していますか？

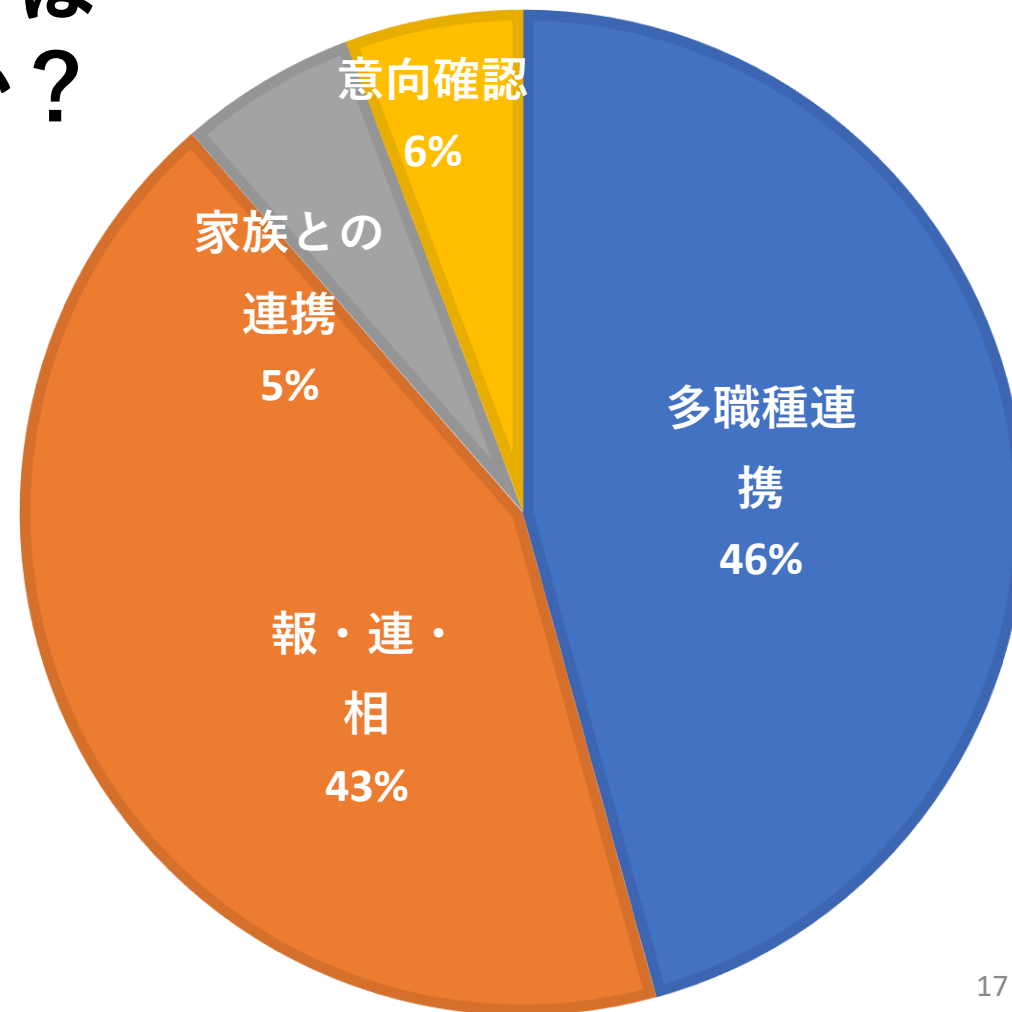
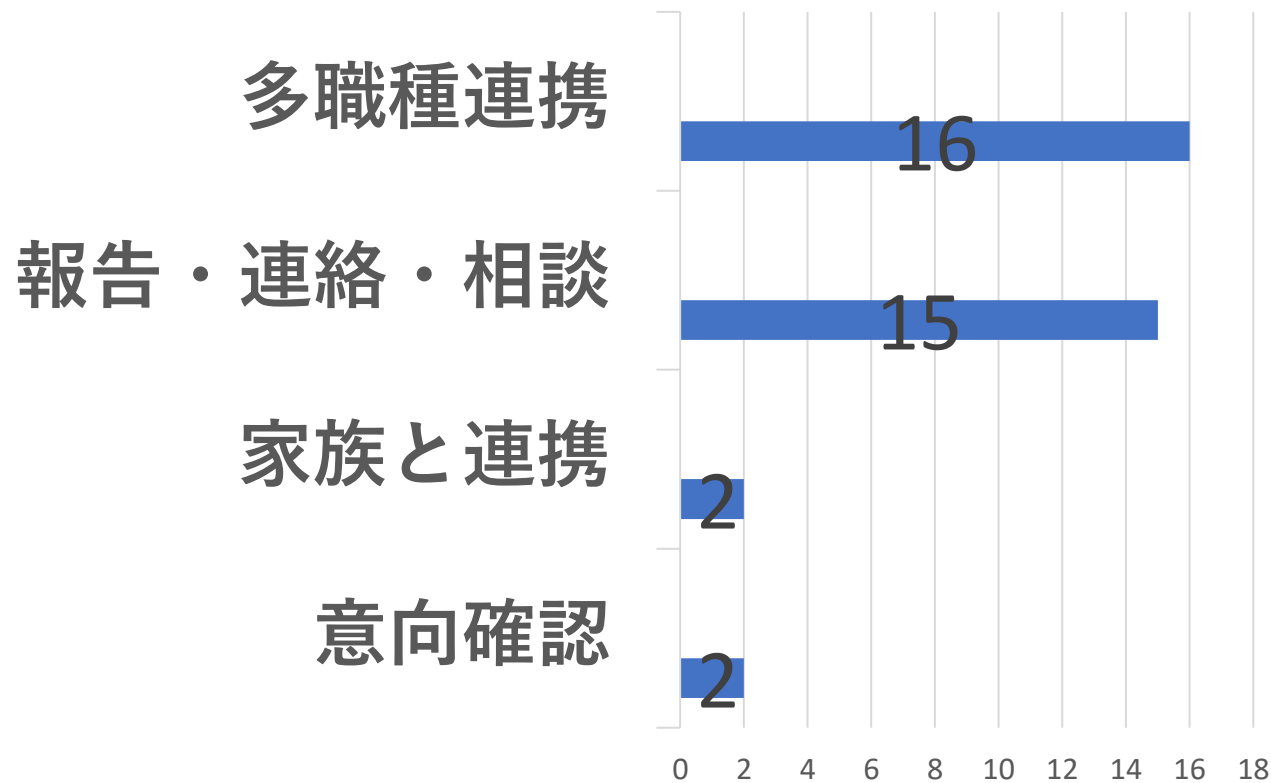
意向確認の時期





# 急変時の連携についての質問

## 3、予想外のトラブル発生時はどのように対応していますか？



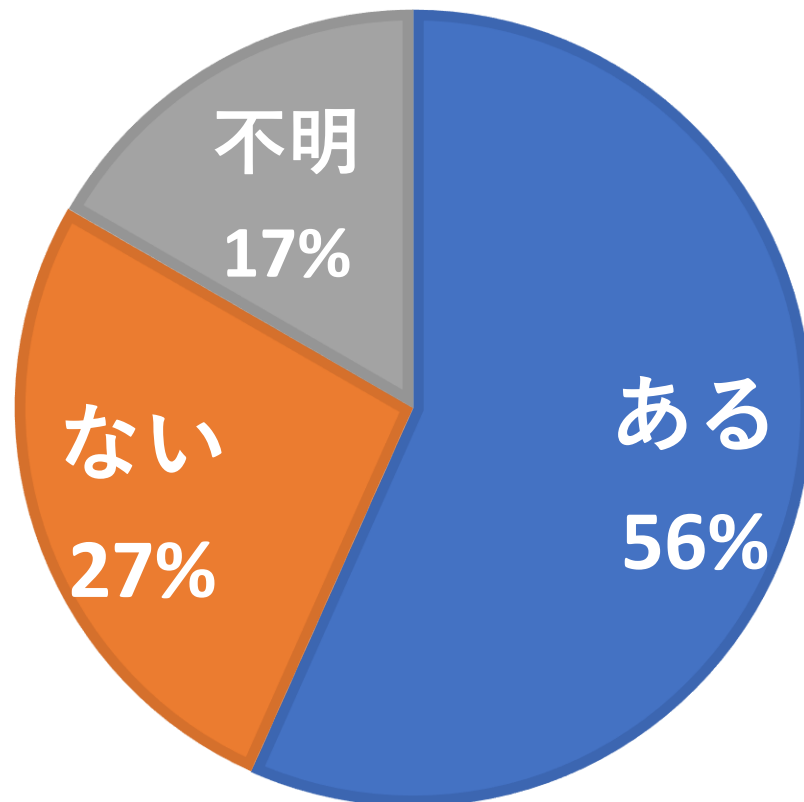
# 急変時の連携についての質問

## 3、予想外のトラブルが発生した時、どのように対応していますか？

- ・ 家族や関係者と連携が取れるよう情報共有に努めている
- ・ 管理者に報告する
- ・ 落ち着いて行動し、情報収集を行い報告、相談する
- ・ 関係者である多職種に連絡する
- ・ 関係者の連携
- ・ 本人や家族がどうされたいか方針を確認する

# 急変時の連携についての質問

## 4、急変時や搬送時に家族とコミュニケーションで苦勞していることはありますか？



回答 31名中

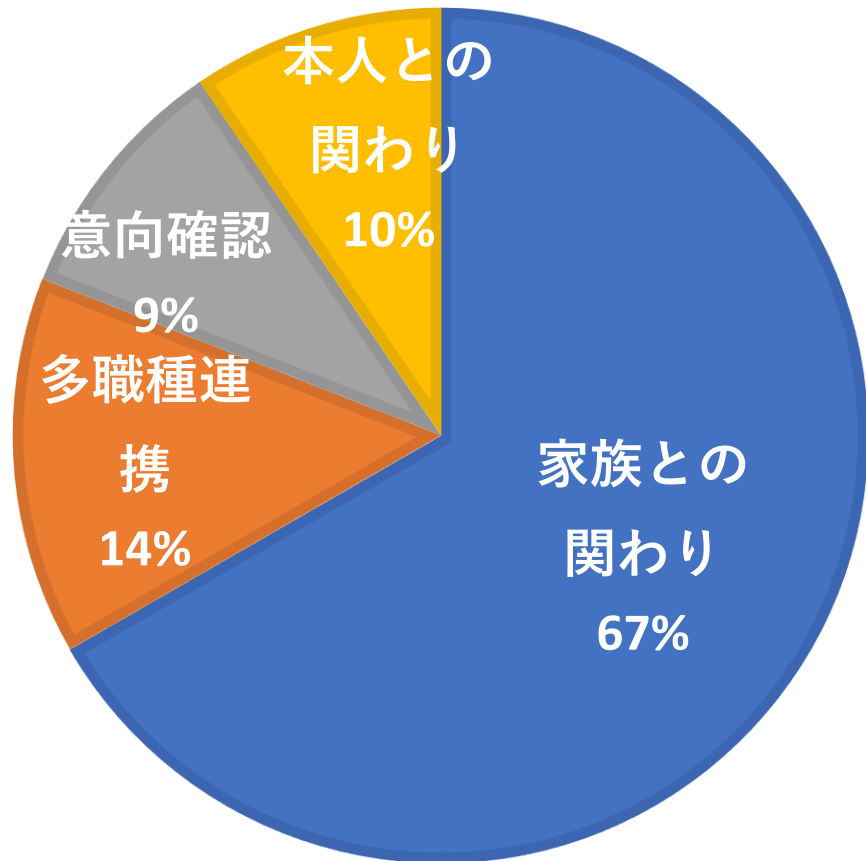
苦勞している... 17名 (56%)

苦勞していない... 9名 (27%)

不明 ... 5名 (17%)

# 急変時の連携についての質問

## 4-1 どのようなことで困りましたか？



回答 31 名中  
無記名 14 名除く 17 名で集計  
(複数回答あり)

家族との関わり	13名
多職種連携	3名
意向確認	2名
本人との関わり	2名

# 急変時の連携についての質問

## 4-1 どのようなことで困りましたか？

### 【家族との関わり】 ...13回答

- ・ 家族と連絡が取れない... 5 回答  
（在宅、病院）
- ・ 家族が遠方で病院に付き添えない... 2 回答  
（在宅）
- ・ 家族間で意向がまとまっていない... 3 回答  
（在宅、病院）
- ・ 家族が焦っており状況判断できにくい  
... 2 回答（在宅）

### 【多職種連携不足】 ...3回答

- ・ 病院に搬送受け入れを断られた（在宅）
- ・ 訪問看護より救急車の方が早い（在宅）
- ・ 同一事業者内での連携が不足していた  
（在宅）

### 【本人との関わり】 ... 2 回答

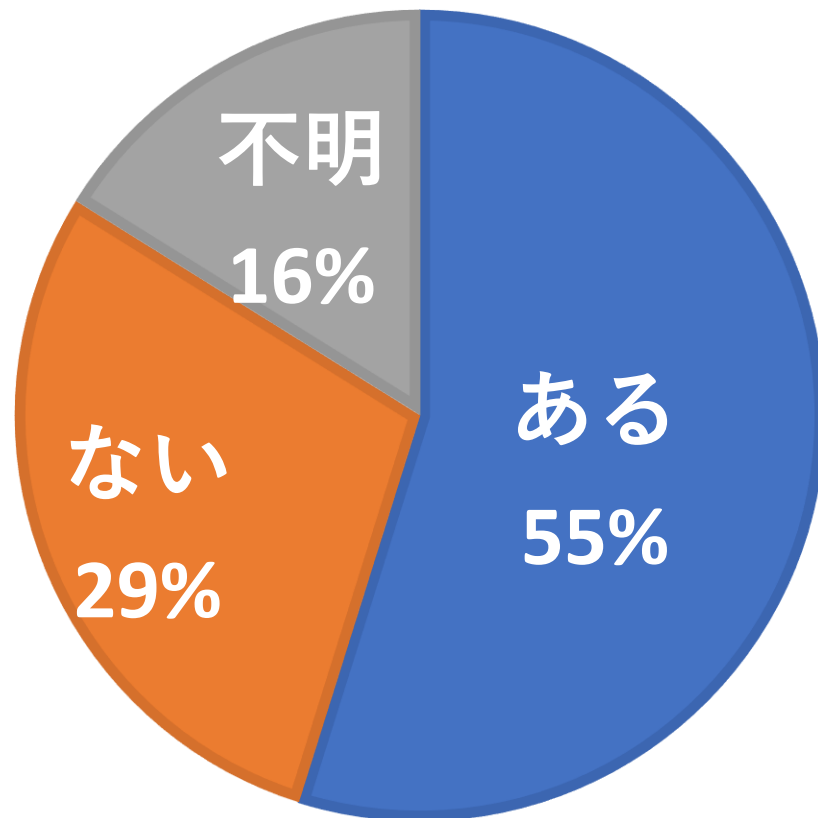
- ・ 理解力の問題（在宅）
- ・ 話がころころと変わってしまう（在宅）

### 【意思確認】 ...2回答

- ・ 家族と本人の意向の相違（在宅）
- ・ 家族の意向がまとまらない（在宅）

# 急変時の連携についての質問

## 5、利用者の状態、緊急度の判断に困ったこと とはありますか？



回答 31 名中

困ったことがある... 17 名 (55%)

困ったことはない... 9 名 (29%)

不明 ... 5 名 (16%)

# 急変時の連携について質問

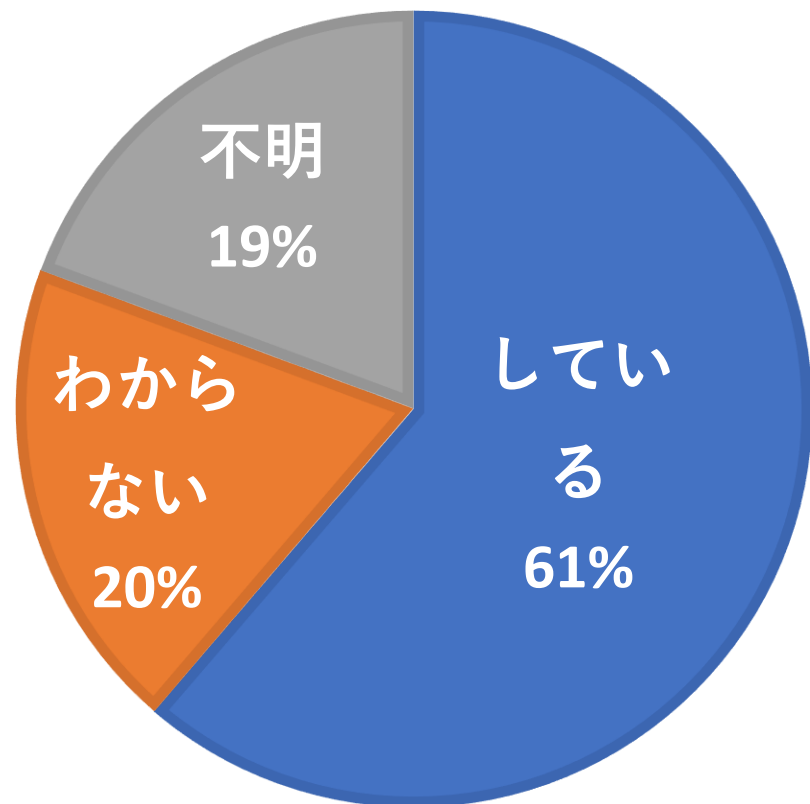
## 6、救急搬送時、救急隊に伝えるべき情報は把握していますか？

回答 31 名中

把握している... 19名 (61%)

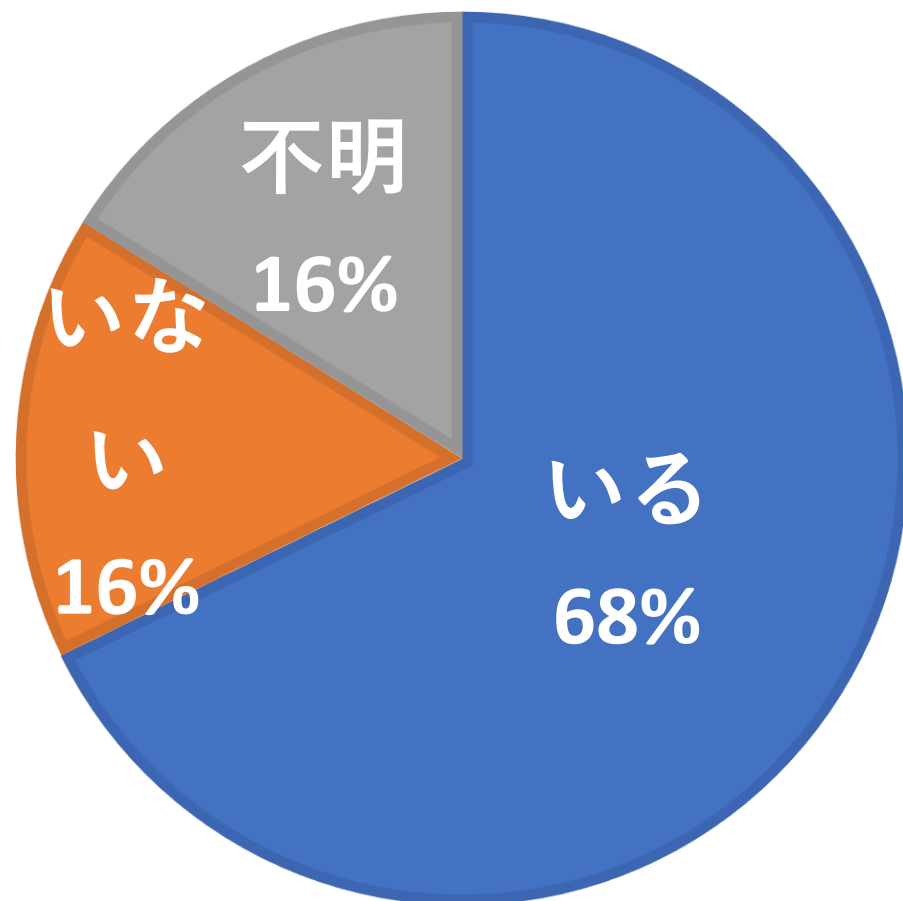
わからない ... 6名 (20%)

不明 ... 6名 (19%)



# 急変時の連携についての質問

## 7、救急搬送時、相談できる人はいますか？



回答 31名中

いる... 21名 (68%)

いない... 5名 (16%)

不明 ... 5名 (16%)



# 急変時の連携についての質問

## 8、どのようなサポートが必要ですか？

- ・ 安価な保証人（身元引受人）となれるサービス（在宅／CM）
- ・ 救急車に同乗するつきそい（在宅／介護職）
- ・ 家族が必ず電話に出てくれるように依頼する（在宅／介護職）
- ・ スムーズな搬送になるように搬送先を決めるなど（在宅／CM）
- ・ 救急か判断に迷った時、相談できる窓口の周知（在宅／訪看）
- ・ 病院側の窓口がしっかりしていること（在宅／医師）
- ・ 情報をすりあわせ共有できる場所、機会がほしい（在宅／訪看）
- ・ 緊急時を想定したシートやマニュアルが欲しい（在宅／SW）

# 急変時の連携についての質問

## 9、急変時の搬送に関して、救急隊・病院に聞きたいことはありますか？

- ・ 病院や救急隊は、具体的にどんな**情報が必要**なのか？
- ・ 搬送先について**知りたい**
- ・ 家族がいない場合の対応、特に救急車同乗が必要な理由を**知りたい**
- ・ 状態がわかる範囲での報告や予後予測が**知りたい**
- ・ 入院ベッド条件の見える化が欲しい
- ・ 救急隊と在宅医療関係者間で急変の判断に乖離が生じたため、急変の状況についての**情報共有**したい
- ・ 搬送先が決定するまで、現場に待機する理由について**知りたい**

# 急変時の連携についての質問

## 10、皆さんの困りごとを教えてください

- ・希望の搬送先が受け入れてくれないことがある（在宅／介護職）
- ・家族が不在時に救急車に同乗を求められること（在宅 訪看／CM）
- ・連絡の取れる家族がない場合の搬送について（病院／SW）
- ・家族が病院に到着するまで、病院待機を求められること（在宅／訪看）
- ・ACPについて救急搬送時に共有できるツールがあるとよい。  
また、救急隊にも把握してほしい（在宅／訪看）
- ・家族の考え、利害の不一致（看取り？搬送？）（在宅／医師／薬剤師）
- ・訪問診療医の不足（在宅／訪看）
- ・本人・家族が急変時のイメージがわからず話ができにくい（在宅／CM）
- ・急変に備えキーボックスの設置を進めても防犯面から断られてしまう（在宅／CM）

# 急変時の連携についてグループワークでいただいた意見

<グループワークで見えたこと>

- ・顔の見える関係性づくりが重要
- ・ケアマネの負担が大きく、責任を抱え込みやすい
- ・情報共有方法の課題
- ・すぐに連絡が取れるSNSのようなツールが必要
- ・対応マニュアルの作成が必要か疑問が残る
- ・消防のマニュアルがどうなっているのか知りたい

※当アンケートでいただいたご意見については、情報共有で解決するのか、連携会議で課題として取り上げることができるか分析し、今後別の形で在宅医療介護関係者に返していきます。